

事業内容2

(2) 放課後の居場所の質の改善及び、普及啓発を 目的とした勉強会・研修

2024年度放課後勉強会 実施報告書

第7回放課後勉強会(10/9):<https://npoafterschool.org/archives/blog/2024/12/43529/>
第8回放課後勉強会(2/5):<https://npoafterschool.org/archives/blog/2025/02/44253/>

放課後の居場所の質改善及び普及啓発を目的に、昨年度の放課後勉強会を継続する形で年2回のオンライン研修を実施。調査研究やアンケート調査の結果を踏まえて内容・事例を検討したことで、**満足度や今後への実践意欲が9割を超える肯定回答**を得られた。また、各回 **4～5割の新規参加者を獲得しネットワークを拡大**することができた。

本事業における位置づけ

放課後の居場所の質の改善及び普及啓発を目的に、調査研究の結果やその中で活用している「保育環境評価スケール④」のサブスケールを観点として踏まえ、放課後に関わる関係者に向けた勉強会を開催する

今年度のゴール

- ✓ 放課後や子どもの居場所に携わる実践者が全国から集まり、参加者が様々な拠点・施設・団体の具体事例を通じて、現場実践に役立つ考え方や実践方法が得られている状態
- ✓ 参加者が放課後の居場所の質向上の実践意欲が向上している状態

実施回数

年2回

対象者

放課後現場運営事業者、子どもの居場所づくりや支援に携わる方、自治体職員の方、その他どなたでも

各回のテーマ設定の背景、目的



特別な配慮が必要な子どもが増えていく一方、「受け入れたくても対応することが難しい」「トラブル対応に困っている」等の課題感を受け、関わり方・支援に役立つ考え方や実践事例を得られ、実践への意欲が向上することを目指した



調査研究の結果を受け、今ある空間を活かし、子どもたちが居心地良く感じられる環境づくりのための観点を得て、具体事例を元に環境改善のためのノウハウを得たり、実践意欲が向上したりすることを目指した

日時:2024年10月9日(水) 10:00-11:55

タイトル:「インクルーシブな居場所づくり～困り感を抱えやすい子への関わり方・支援～」

登壇者:臨床心理士・公認心理師 須賀田 真理 氏

▼告知のHPのリンク

<https://npoafterschool.org/archives/news/2024/09/42513/>

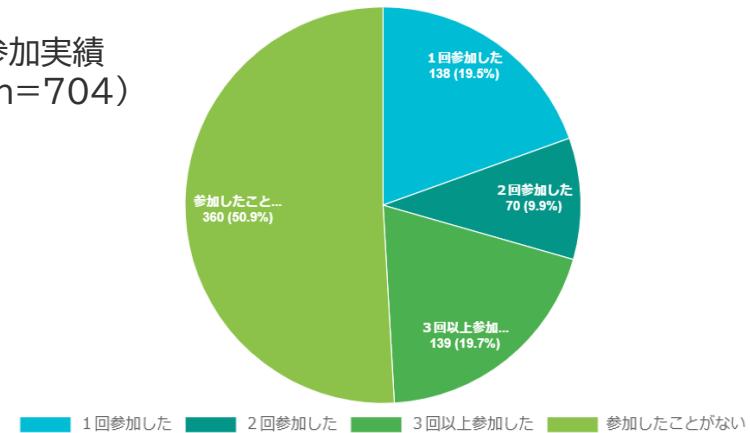
▼キービジュアル



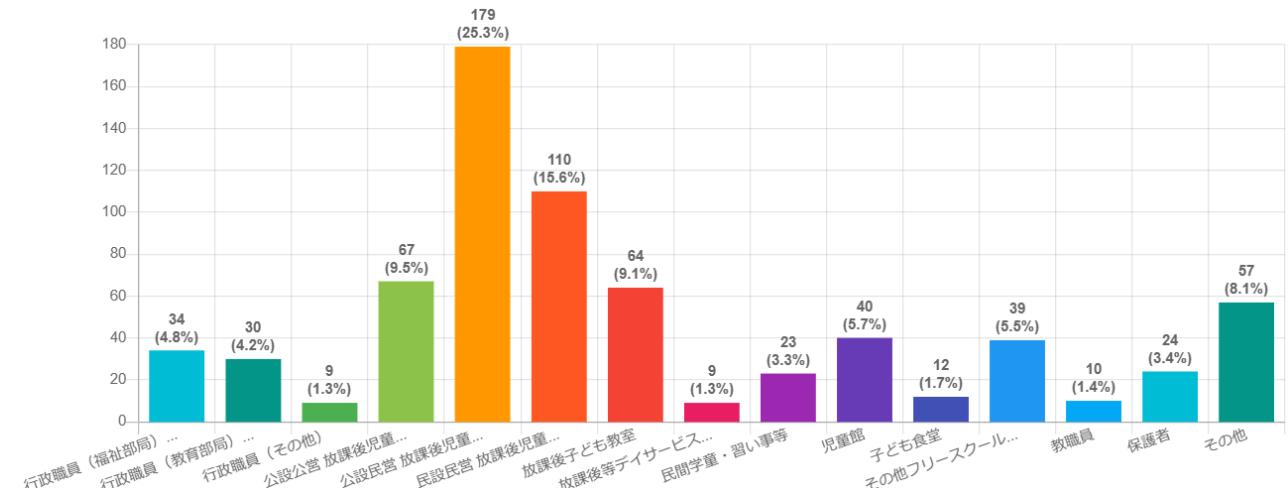
▼申込者について

申込人数計:1,456名
新規参加者:739名
サテライト参加:169件

参加実績
(n=704)



所属属性(n=704)



▼内容・流れ

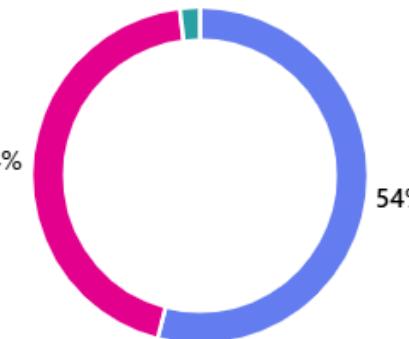
はじめに	<ul style="list-style-type: none"> 10:00 -10:20 本勉強会について & アイスブレイク(代表より) 10:20 -10:25 今放課後で起きていること(課題と背景)
本編	<ul style="list-style-type: none"> 10:25-10:40 基調講演 「困り感」を抱える子と放課後 (臨床心理士・公認心理師 須賀田真理先生) 10:40-11:45 「困り感」事例からの対応・関わりの検討ワーク 子ども対応／保護者とのかかわり／チームで (須賀田先生 & 放課後NPO 渡部岳) 明日から使える? 現場実践・おまけ編
おわりに	<ul style="list-style-type: none"> 11:45-11:55 子どもたちのエピソード 11:55-12:00 事務連絡・勉強会資料などについて
ゆる座談会	<p>—いったんこちらで終了—</p> <ul style="list-style-type: none"> 12:05-12:30 もっと話したい!と思われた方ぜひご参加ください

事後アンケートの結果

満足度に対する肯定回答が98%、99%が実践に活かせられると回答

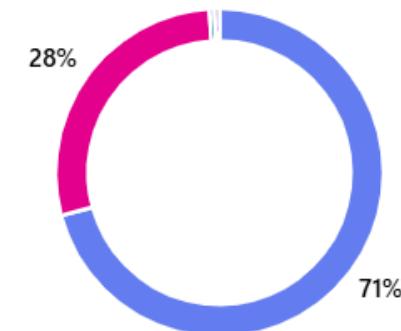
▼本日の会についての満足度に当てはまるものをお選びください。
(n=209)

- とても満足 113
- まあ満足 92
- あまり満足でない 4
- まったく満足でない 0



▼今回の勉強会の内容は、日頃の実践や今後に活かせられると思う内容でしたか。
(n=209)

- そう思う 148
- まあそう思う 59
- あまりそう思わない 1
- 思わない 1



▼参加者の声

- 対象児の対応・保護者対応・スタッフ間の支援方法の構築など、まさに悩みながらも取り組んでいる全ての内容に当てはまっていました
- どうしても手のかかる児童が落ち着いて過ごすことを考えがちだが、スタッフでどのように対応していくか共有し、統一した指導が大切だと学びました。
- 解決方法をカード化(文字や絵で示す)して、子どもたちにもわかりやすくしているのが活かせそうでした
- 環境づくりとしてリラックスで抱きしめられるぬいぐるみや、音に過敏な子に対してイヤーマフを提供したり、ストレス解消のにぎにぎボールなど、取り入れてみたい
- 具体的な事例について、他の方たちが自分ならこうすると思う、と寄せられた意見を聞けるのがよかったです

その他成果物

- 実施報告ブログ: <https://npoafterschool.org/archives/blog/2025/02/44253/>
- 関連事例集: <https://note.com/npoafterschool/n/na6fe50367ae2>

日時: 2025年2月5日(水) 10:00-11:55

タイトル: 「一人ひとりの居心地の良い環境づくり」

登壇者: 早稲田大学人間科学学術院 佐藤将之 教授

▼告知のHPのリンク

<https://npoafterschool.org/archives/news/2025/01/43717/>

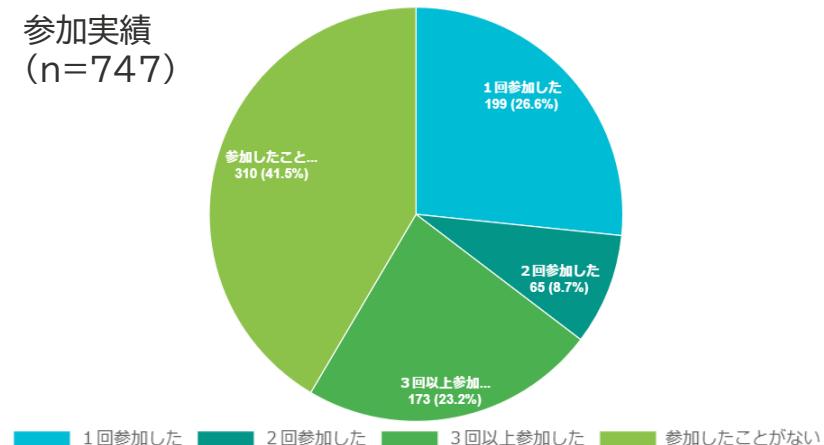
▼キービジュアル



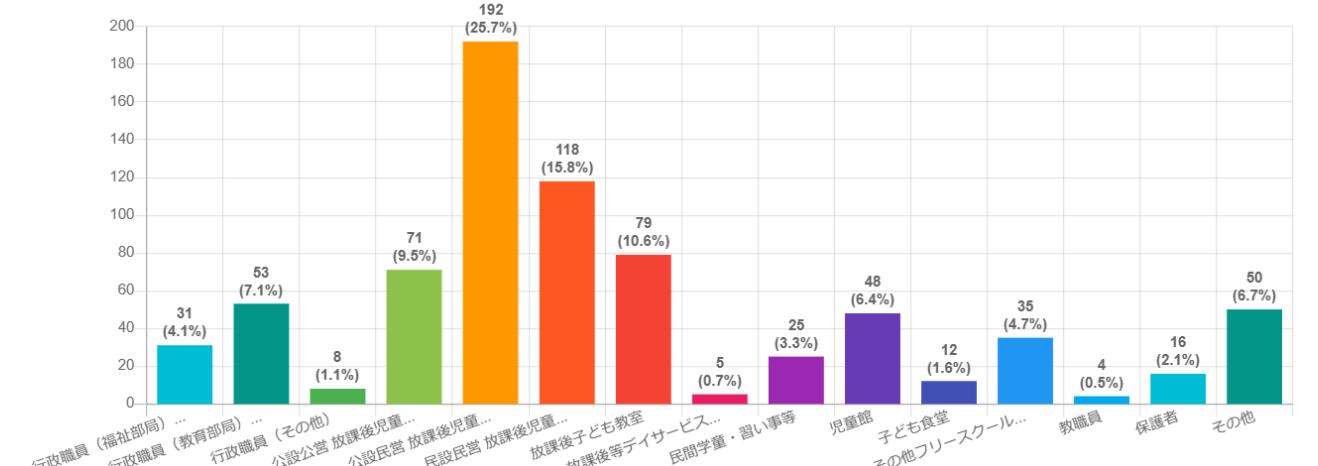
▼申込者について

申込人数計: 1,470名
新規参加者: 587名
サテライト参加: 175件

参加実績
(n=747)



所属属性(n=747)



▼内容・流れ

はじめに

- 10:00-10:05 本勉強会について-課題と背景-
- 10:05-11:10 基調講演「子ども一人ひとりが居心地の良い環境づくり」
登壇者: 早稲田大学人間科学学術院 佐藤将之 教授
- 11:10-11:50 「居たい」「行きたい」「やってみたい」を引き出す環境づくり
-実践事例とお悩み共有-
- 11:50-11:55 子どもたちのエピソード
- 11:55-12:00 お知らせ

本編

- 10:05-11:10 基調講演「子ども一人ひとりが居心地の良い環境づくり」
登壇者: 早稲田大学人間科学学術院 佐藤将之 教授
- 11:10-11:50 「居たい」「行きたい」「やってみたい」を引き出す環境づくり
-実践事例とお悩み共有-
- 11:50-11:55 子どもたちのエピソード
- 11:55-12:00 お知らせ

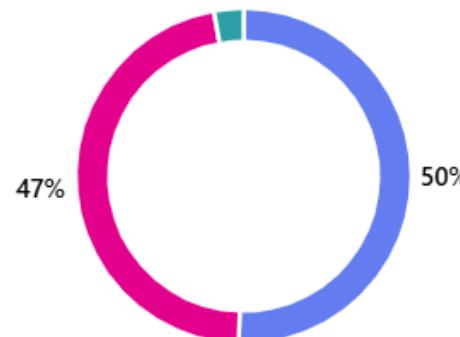
おわりに

事後アンケートの結果

満足度に対する肯定回答が97%、また96%が実践に活かせられると回答

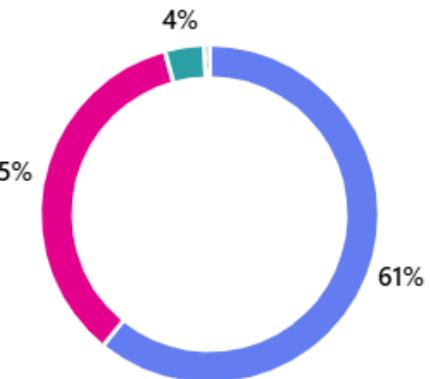
▼本日の会についての満足度に当てはまるものをお選びください。
(n=212)

● とても満足	107
● まあ満足	99
● あまり満足でない	6
● まったく満足でない	0



▼今回の勉強会の内容は、日頃の実践や今後に活かせられると思う内容でしたか。
(n=212)

● そう思う	129
● まあそう思う	74
● あまりそう思わない	8
● 思わない	1



▼参加者の声

- ・ワンフロアの広い空間の中にさらに個別の空間を作ることは不可能と思っていたため、今回の研修を受け多くの刺激を受けた
- ・子ども、大人のための環境を改善したいと思っても基準が分からなかったので目安として評価スケール④という存在を知る事ができとても参考になりました
- ・とりあえずやってみるという気持ちが大事だという佐藤先生の言葉に励されました
- ・部屋の暗さ、明るさのところや、音のアプリで音の環境確認したりしてみたいです。
- ・子どもたちにもアイデアを募り、何が欲しいか？聞いてみて一緒に居心地の良い環境を作っていくたい

その他成果物

- ・実施報告ブログ：<https://npoafterschool.org/archives/blog/2025/02/44253/>
- ・関連事例集：<https://note.com/npoafterschool/n/n6e02137fa3e6>